

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>平成 24 年 6 月 29 日</p> <p>愛知県知事 殿</p> <p>提出者 住 所 愛知県東海市南柴田町トノ割266番18号 氏 名 コカ・コーラセントラルジャパン® ロダック株式会社 代表取締役社長 宮本 憲三 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 052-604-6010</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	コカ・コーラセントラルジャパン® ロダック株式会社 東海北工場／東海南工場
事業場の所在地	愛知県東海市南柴田町トノ割266番18号
計画期間	平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 25 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	10 : 飲料・たばこ・飼料製造業
②事業の規模	製品出荷額 3,135,799 千円 (平成23年4月 ～ 平成24年3月)
③従業員数	201 名 (平成 24 年 3 月 31 日現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	資料—1 資料—2 (事業所配置図)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>産業廃棄物の排出抑制及び適正処理に係る基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場における分別廃棄の徹底 ・廃棄物保管場所（再資源化物置場）の適正管理 ・法令を遵守し適正に委託処理をする。 ・マニフェストの適正管理 ・委託契約先の処理状況等について現地確認の実施（1回以上/年） <p>（管理体制図）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総括責任者： 管理部長 松永 剛 ・ 担当者： 管理部 管理チーム 古賀 裕治 <p>添付資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物処理に関する管理組織図 資料—3 ・（小冊子）環境・社会報告書 CSR-レポート2012 			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（23年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	<p>発生量については、生産数量による増減が大きく単純に比較は出来ないが、 コーヒー及び茶飲料の生産量に連動して、動植物性残さ（コーヒー粕・茶粕）の発生量は大きく変化する。</p> <p>又、最終処分量について、弊事業所はゼロエミッション活動の中で再資源化率が99%以上を達成維持している。</p>		
②計画	【目標】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <p>茶粕を有償物として取引可能な業者を選択することにより、産業廃棄物の排出量を抑える。</p>		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	<p>（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</p> <p>廃プラスチック類は材質別に分別し、汚れたビニールは十分な洗浄後分別して有償化している。又蛍光灯リサイクル業者を選択しリサイクル化を推進している。</p>		
②計画	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <p>金属とプラの混合廃棄物は、分別することにより、有償物にする。又資材汚れ廃プラの100%有償化を目指す。</p>		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（23年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 産業廃棄物を自ら直接再利用していなし，又，中間処理した後再利用もしていない		
②計画	【目標】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後とも、産業廃棄物を自ら直接再利用していなし，又，中間処理した後再利用もしていない		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（23年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 動物性残さ，汚泥は、平成17年度より本稼動した「メタン発酵システム(有機性廃棄物処理設備)」により，減容化している。		
②計画	【目標】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 有機性廃棄物（コーヒー粕，茶粕，余剰汚泥）の減容化を着実に進め、メタン処理後の残さもすべて堆肥原料化の推進。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（23年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 以前より、埋立処分、海洋投入処分は実施していない。		
②計画	【目標】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後とも、埋立処分、海洋投入処分は実施しない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（23年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 工場から排出した産業廃棄物が不法投棄、不法利用されないように優良な産業廃棄物業者に処分委託している。		

②計画	【目標】	別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>今後とも、工場から排出した産業廃棄物が不法投棄、不法利用されないように、優良な産業廃棄物業者に処分委託している。</p>		
※事務処理欄			

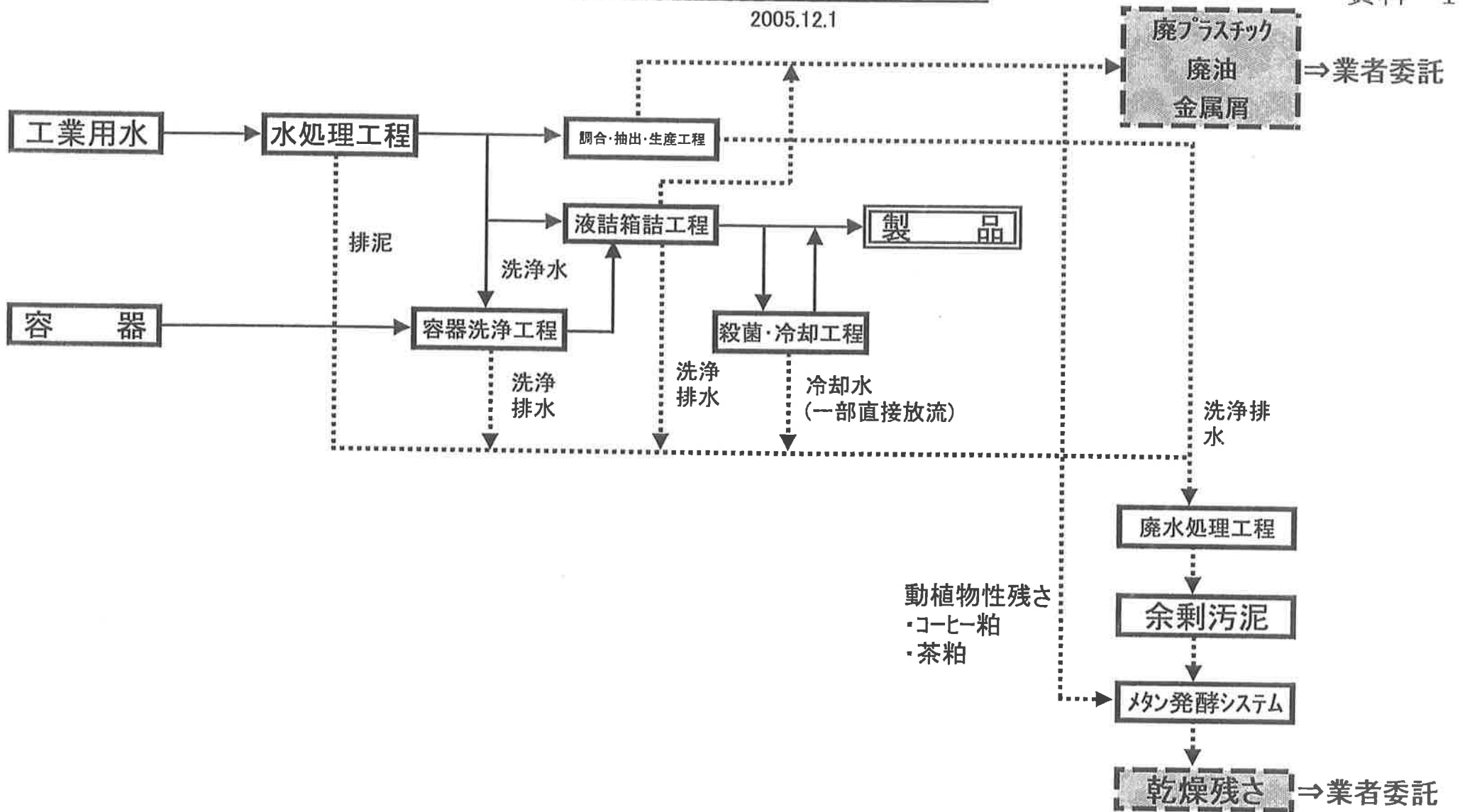
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物発生フローシート

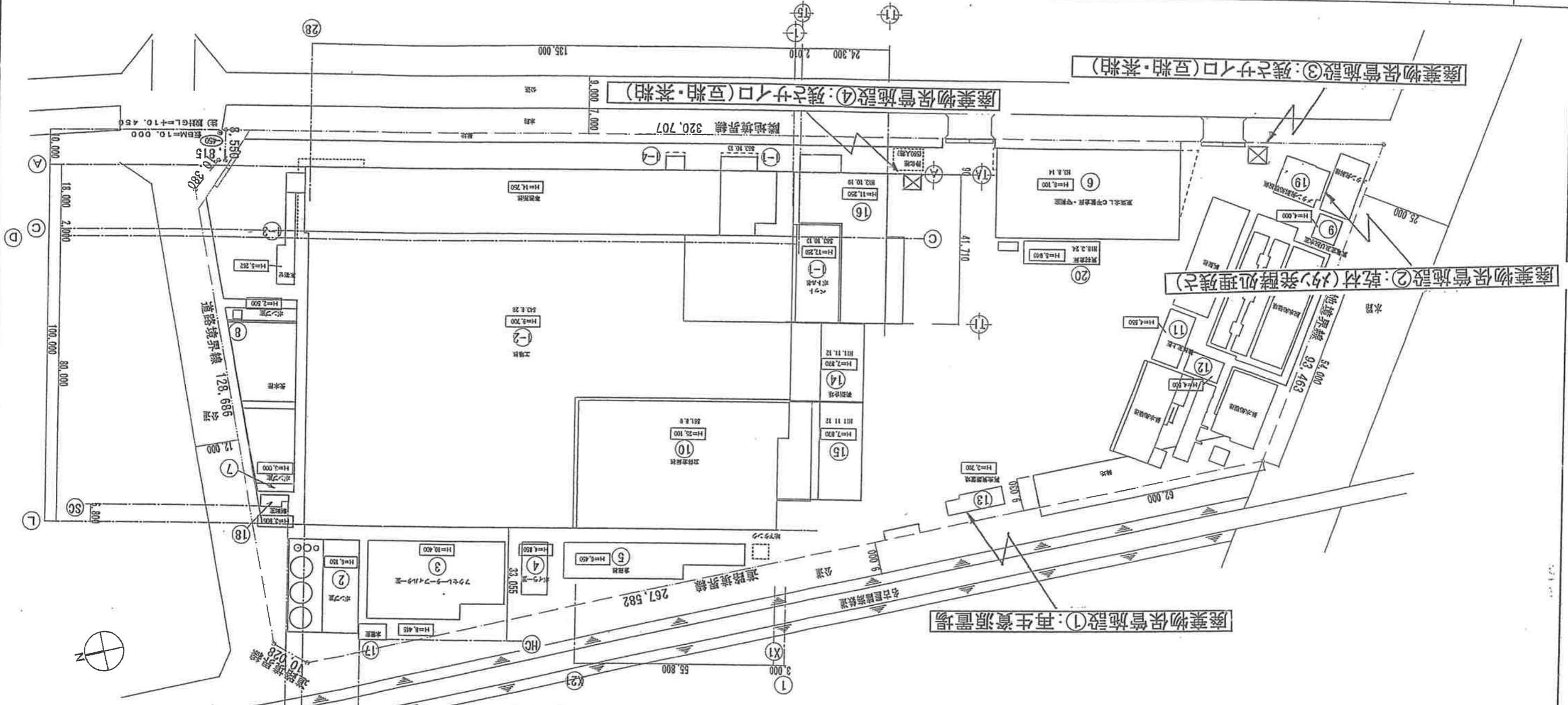
2005.12.1

資料-1



設計概要	工場名称	加コ-エツルツヤ中心プラント 東海北工場
	工場場所	愛知県東海市南桑田町ノノ對266-18他、3案
	用途地域	工業専用地域
	防火地域	指定なし
	その他の	指定なし
	地域地区	
	建ぺい率	70%
	容積率	200%
	日影規制	日影規制なし
	前面道路	12 m (法42条 1項)
	敷地面積	36,654.97㎡ (11,088.13) 坪

凡例	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)
①	388.46	994.23	2,274.07	2,274.07
②	11,699.45	14,955.01	112.50	112.50
③	810.00	1,404.00	365.52	365.52
④	105.00	105.00	1,195.81	1,195.81
⑤	428.00	748.00	34.69	34.69
⑥	1,296.56	1,397.60	19.95	19.95
⑦	20.00	20.00	275.97	275.97
⑧	3.82	3.82	118.00	118.00
⑨	55.92	105.00	19,600.53	25,060.04
合計				
⑩			2,274.07	
⑪			112.50	
⑫			65.31	
⑬			76.00	
⑭			417.06	
⑮			365.52	
⑯			19.95	
⑰			34.69	
⑱			138.71	
⑳			118.00	
合計			19,600.53	25,060.04



工務名	コカ-エツルツヤ中心プラント建設東海北工場
図面名	敷地面積図
縮尺	1 : 800
日付	'06.09.29

産業廃棄物処理に関する管理組織図(2012.1.1)

本社 管理部(東海工場内)

管理部長(産業廃棄物処理総括責任者)

—— 管理部管理チーム (産業廃棄物担当部署)
・産業廃棄物処理責任者

—— 東海工場設備管理チーム
・産業廃棄物処理施設技術管理者
・特別管理産業廃棄物管理責任者

..... 東海工場 環境部会

● 推進内容

- ・生産活動そのものと位置付けし、全従業員に対して意識向上を図る。
- ・分別廃棄の徹底。
- ・継続的な改善と取り組み。